

# 「豊かな感性を磨いて」

## 函館高等支援学校で開校式

函館高等支援学校(立田)に新設。今春に普通科、生(俊治)校長、生徒29人で22産技術科、食品サイエンス科、開校式が開かれ、約100人が学校としての第一歩を祝った。

立田校長は式辞で校訓の「探求」「協働」「健全」に触れ「学び、働きの生涯に連れ、互いの良さを認め合い、豊かな感性を磨いてほしい」と励ました。来賓の道教委の佐藤嘉大教育長、渡島総合振興局の佐々木徹局長、道議会の高橋亨副議長、函館市教委の辻俊行教育長があいさつした。

同校は道内の特別支援学校高等部への進学希望者の増加に対応し、函館稜北高校の空き教室を活用し4月めいめい、豊かな感性を磨いてほしいと、作曲者の札幌あすか高教頭の石若拓哉さんと、校歌と校訓を揮毫した市立函館高教諭の鈴木大有さんに感謝状を贈った。

校歌は式の最後に全校生徒と全教職員が披露し、息の合った合唱で会場に歌声を響かせた。

(飯尾遼太)



開校式で式辞を述べる立田校長

函館新聞 令和元年6月23日

の意思を表現した2部合唱となつている。稜北高の歴史を大切にしようと、同校の校歌から「横津の山脈」「田の港」「臥牛の峰」などの歌詞を引き継いだ。

この日、作曲者の札幌あすか高教頭の石若拓哉さんと、校歌と校訓を揮毫した市立函館高教諭の鈴木大有さんに感謝状を贈った。

校歌は式の最後に全校生徒と全教職員が披露し、息の合った合唱で会場に歌声を響かせた。